



リポーター

平泉 昭さん

(田代町2区)

福祉活動の拠点

北部シルバーエリアを訪ねて



コミュニティセンターで取材する平泉リポーター

秋田県北部老人福祉エリア(愛称・北部シルバーエリア)が十二所地区に造られたという事は、広報や新聞などで知っていました。今回、その実態を知りたいと思い、初めてエリアを訪れました。

設立の目的

介護から生きがい活動まで

秋田県は全国平均を上回るスピードで高齢化が進んでいて、二〇二五年には高齢化率(六十五歳以上)が、三三・八%と全国一になると予測されています。そうした中で、住民のニーズは介護や看護にとどまらず、健康づくりや生きがい活動さらには社会参加や世代間交流に向けられるなど、多様化、複合化してきています。

これらに対応し、また市町村等の施設整備や運営等の「先導的役割」を果たしうる施設を目指し、北部シルバーエリアは平成十一年に建設されました。県内では、南部と中央に建設され、この北部が三カ所目です。北部シルバーエリアの総事業費は百二十一億七千万円で、国・県と市が負担しました。

世代間交流の場

「コミュニティセンター」

この施設は秋田県で設置し、運営は秋田県社会福祉事業団が行っています。玄関から続くロビーは、吹き抜けになっていて、十分な広さもあり、まるでホテルにでも入ったかのような感じを受けます。全館暖房、しかもバリアフリー化され、段差などありません。とても快適です。この中には次のような設備があります。

- 会議研修設備
 - 会議室、研修室、視聴覚室、多目的ホールがあります。多目的ホールでは、写真会も行われています。
- グリーンハウス(温室)
 - 一年を通じて花木の栽培、鑑賞ができる、緑あふれる交流の場です。百種類の花木があり、いやしの場となっています。
- スポーツ設備
 - 屋内運動場、屋外スポーツ施設があります。屋内運動場は、幼児の遊具もあり、休日は家族連れでにぎわいます。
- 生きがい・創作活動設備
 - 陶芸室、木工室、茶室、趣味文芸室、食品加工室があります。定期的に各種教室が開かれています(広報大館に詳細が載っています)。
- ふれあい農園
 - エリア入所者や地域住民など、



緑あふれる温室